

お忙しくても、約 2 分間で読めます

# ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

 TEL 098-868-6895  
 FAX 098-863-1495

## 経営者への活きた言葉

### 日本的経営（年功序列）を貫く 塚越 寛（伊那食品工業会長）

1. 日本の経営の特徴だった年功序列制度が崩れ、成果主義や能力給が広まって久しい。しかし特定の個人やチームだけを評価すると、職場の雰囲気はギスギスしてしまう。「自分の成績さえよければいい」という考え方が広まり、ほかの社員と協力しなくなる。そして隣の部署や同僚の成績不振で溜飲を下げ、成績の悪い年長者を軽んじる風潮が広がる。私は、全社一丸となった時こそ、会社は最大の能力を発揮できると信じている。だが、成果主義や能力給では、会社の「和」は保てず、全社一丸となって事に当たるのが難しくなる。
2. そもそも突出した成果を出したとしても、それはその個人やチームだけで成し遂げたものではない。先輩やOBが長年かけて築いた会社の信用やブランド、周りのバックアップがベースにある。また有能な人材を育てたのも周囲の人々だ。そうした長年の積み重ねで開花した時に、その個人やチームだけを優遇する制度は、間違っていると思う。
3. 私は決して社員たちに甘えを許しているわけではない。自分で自分を律して、常に高い目標に挑んでもらいたいと思っている。年功制度の下であっても、そのような動機付けは可能である。社員が幸せを感じるのは、給料が増えた時だけではない。会社の周辺に庭園を整備するなど、少しずつ職場環境を改善させていくことも、幸福度の向上につながる。成果主義や能力給で、社員の尻を叩かなくても、社員のやる気を引き出せる。年功序列こそ、古くて最先端の人事制度ではないか。

(参考：「日経ビジネス」2015年3月23日号)

## 経営者のための危機管理

### タクシー減車に着手

1. タクシーの減車に向けた規制強化がいよいよ動き出した。1月上旬、国土交通省から地方運輸局へ、減車の対象候補となった特定の29地域が通知された。大都市では、東京都23区、名古屋市は対象から外れたが、大阪市、福岡市は含まれた。2002年に国は、新規参入の際の最低保持台数を低減するなど、規制を緩和。その結果、輸送人員が減少する中、車両数は26.3万台から27.3万台と増加した。
2. 「安全」の視点から減車の必要性は指摘されていた。2013年に東京でタクシーが起した人身事故は4157件と、バブル期の1989年の3151件から増加した。ほかのタクシーに客を奪われまいと、無理な割り込みも一因である。減車は安全対策の第一歩という見方だ。

(参考：「週刊東洋経済」：2015年3月14日号)

## 新規成長分野

### 日本発のラーメンが世界を席巻

1. 九州は豚骨こってり、東京は鶏ガラ出汁のあっさりしゅゆ、北海道はみそと塩。日本で誕生したラーメンは、全国各地の地域性や作り手のこだわりなどが加わって、まさに、国民食と言われるほど独自の発展を遂げてきた。最近では海外での評価も高まる一方で、米国やアジア諸国に日本のラーメン店が相次いで進出し、現地の人たちを魅了している。
2. 海外での多店舗化を進めるのが、北海道・旭川生まれの「らーめん山頭火」を運営する(株)アブ・アウト。2003年に海外1号店を香港に開業したのを皮切りに、これまでに米国、カナダ、台湾、シンガポール、マレーシアを含む9カ国・地域に出店。この2月にオープンした3店舗を加えて、海外では32店舗を数える（国内25店舗）。ある調査で外国人観光客に「実際に食べたものでおいしかったものは何？」との質問に1位は「ラーメン」だった。

(参考：「野村週報」2015年3月23日号)

## 古典に学ぶ

### 王さまと奴隷（その4）

(解説) 尹家の主人はたまらなくなつて友だちに相談した。友だちはいった。「君は地位も財産も人よりずっと恵まれているではないか。夜、夢で下僕になるのはあたりまえだ。楽あれば苦ありというものだ。ねてもさめてもいい思いをしようなんて虫がよすぎるな」。主人はその友だちのことばをきいてから、下僕の仕事をへらし、自分も神経をすりへらさないようにしたので、主人も下僕もいくらか苦しみがやわらいた。

(参考：奥平卓・大村益夫訳「老子・列子」：徳間書店)